＼ インスタはじめました！ ／

Instagram

@inukokoro_mds

株式会社
マッシュルーム・デザイン・スタジオ
〒636-0216 奈良県磯城郡三宅町小柳 447
E-mail : info@kinoko-design.com
TEL 0800-123-1556
FAX 0745-44-2282

MUSHROOM DESIGN STUDIO

2019. Autumn
vol. 01

Inukokoro

犬の本質的な健康情報を発信。

北海道 Y.Y.様 **武蔵くん**

表紙のワンちゃん**お写真募集中！**

● ご応募は犬心公式サイト「お客様の声」の「応募フォーム」より

犬心

INUKOKORO

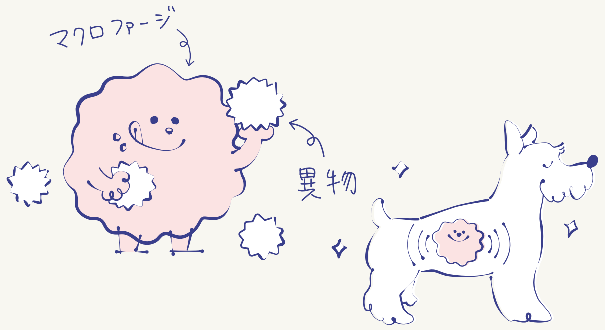
創刊によせて

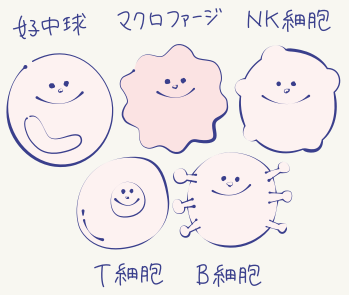
ワンちゃんの健康について、様々な情報があふれています。中には正確ではない情報もあり、飼い主さんが戸惑われているケースも多いです。

私たちは、ワンちゃん達の健康を実現するにあたり、「良い商品をお届けする」ことと共に「正しい情報を発信する」活動も行っていきたいと考えています。
そういった想いをもとに、季刊誌「Inukokoro」を創刊させていただきました。

株式会社マッシュルーム・デザイン・スタジオ　代表取締役　藤本大道

ご存知ですか？免疫力のすごい働き①





そもそも、免疫とは何でしょうか？

免疫というと文字どおり「病気・感染から免れること」と理解されている方が多いのではないでしょうか。「確かに、体内に侵入しようとする病原体・外敵から身を守る機能ではありますが、免疫の役割はそれだけではありません。免疫とは、人やワンちゃんが健康を維持するための大切な仕組みなのです。」と免疫の専門家・自然免疫応用技研株式会社の河内社長は言われます。つまり、

①体内からの異物（病原体・老廃物・余分な血糖・結石・コレステロール等）を排除する
②各臓器・器官がきちんと働けるようにサポートする

といった健康維持に欠かせない多様なシステムが「免疫」なのです。

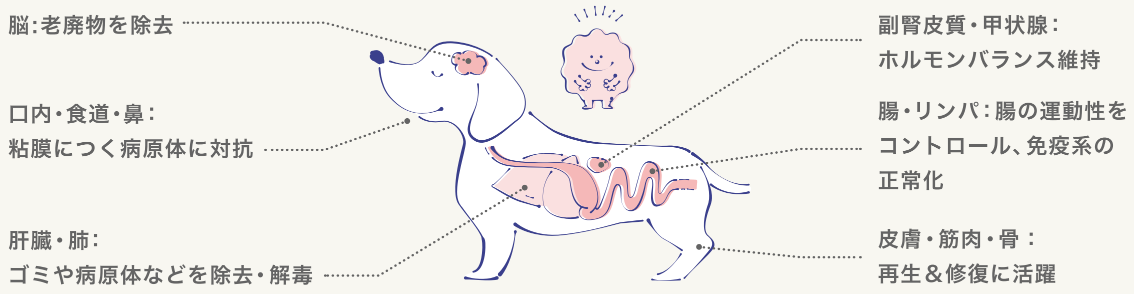
多様な免疫システムは、「チーム」で構成されています

ワンちゃんの健康維持において、様々な役割を果たす「免疫」。その「免疫システム」を担っているのが血液中の「白血球」という免疫細胞チームです。ワンちゃんが生まれた時から備わっている「自然免疫」と後天的に身につく「獲得免疫」が連携し、元気を維持してくれているのです。

全身に張り巡らされている、免疫システム

免疫チームの中でも、特に重要なものが「マクロファージ」と呼ばれる免疫細胞です。マクロファージは、全身のあらゆる組織に存在し、組織ごとに特別な役割を担っています。

各臓器で働くマクロファージ



ご存知ですか？免疫力のすごい働き②

免疫スイッチを入れる「食事」「生活」が“健康のカギ”

ワンちゃんの免疫力を維持するためには、どうすれば良いのでしょうか？実は、日常の「生活」「食事」がとても大切です。

まず、免疫と深く関わるのが「生活ストレス」。生活環境だけではなく、ドッグフードに含まれる「添加物・保存料・悪質な原料」なども身体の内側からのストレス要因になります。そういった生活上のストレスを取り除いてあげることが、免疫キープにつながります。

そして、免疫システムにとって、何より大切なのが「3ポイントの食事」。「免疫のスイッチを入れる」「腸内環境を整える」「バランス良く栄養を補う」という３点です（図1）。

この中でも特に重要なのが、「免疫スイッチを入れる」食事。菌に含まれる「LPS」やキノコ由来の「βグルカン」は、小腸などで「免疫スイッチ」を入れ、全身の免疫ネットワークを活性化することが知られています（図2）。

全身の免疫スイッチをオンにする「生活」と「食事」。ワンちゃんの健康維持に欠かせない要素です。

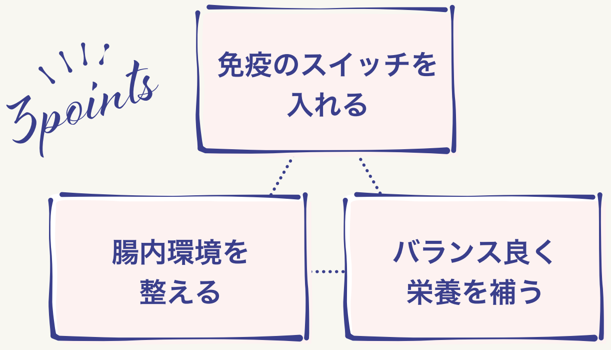


図１

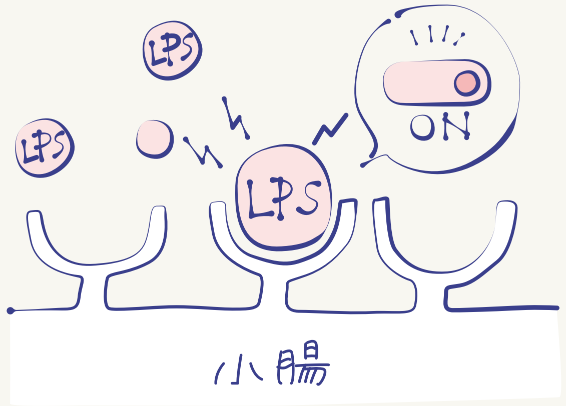


図２

ワンちゃんが受ける生活ストレス

物理的ストレス	科学的ストレス	精神的ストレス	ドッグフードの異物ストレス
● 運動不足、過剰な運動 ● 手術や外傷 ● 気圧の変化 ● 虫や菌の感染、腸内細菌バランスの乱れ	● 空気の汚染、シックハウス、たばこ ● 騒音 ● 電磁波	● 生活環境の変化 ● 家族との別れ ● 通院など不慣れな体験	● 添加物、保存料など ● 悪質な原料、重金属・農薬・放射能などの汚染 ● 酸化した脂肪

免疫を司る、注目成分“LPS”

私たち人間と同じく、ワンちゃんの健康維持のカギとなる「免疫力」。最新の研究により、「病気の素を退治する」「異物・毒素を排除する」「自然治癒力を高める」「ホルモンや内分泌のバランスを保つ」など、免疫システムは様々な役割を担うことがわかってきました。

その中で、人や動物の免疫力をコントロールする成分として、**「LPS」**が注目を集めています。

1988年、免疫力をコントロールする成分として発見された「LPS」。以来、産官学連携の研究グループにより、免疫の根源と言える「LPS」の力が明かされつつあります。

今回、「LPS」研究の第一人者であり、大学発ベンチャーの経営にも従事されているキーパーソンにお話しをうかがいました。

ーLPSの研究に取りくまれたキッカケをお話しいただけますか？

元々、私たちは「マクロファージ」と呼ばれる免疫細胞の研究をしていました。「マクロファージを活性化させる食品成分がないか」、探していたのです。そして、見つかったものが「LPS」でした。

ーLPSは、どのような食品に含まれていたのですか？

「小麦」です。最初は、小麦に免疫成分が含まれることを意外に思いました。その後、詳しく調べてみると、小麦そのものではなく小麦に共生する「菌」に強力な活性があるとわかりました。そして、その活性化成分が菌由来の「LPS」だったのです。

ーLPSによる、免疫・活性化メカニズムを教えていただけますか？

LPSは、細菌の外側にびっしりとついており、菌の侵入を感知する「目印」となります。細菌には、人や動物にとって無害なものもいますが、有毒なタイプも存在します。有毒な細菌が私たちの身体に入ってきたとき、侵入者をいち早く探知し、防御策をとらなければなりません。その際、「LPS」が菌の目印となり、侵入の対策として「免疫細胞＝マクロファージ」が活性化されるのです。活性化されたマクロファージは、異物を食べて排除しつつ、血液などを回遊しながら信号を発し、全身の免疫システムをコントロールする役割を果たします。つまり、LPSを「食べる」ことによって、消化器官でセンサーに感知され、「体の中をキレイに保つ」「自然治癒力を発揮する」「ホルモン分泌・免疫力をアップする」といった全身の免疫システムを活性化するようになるのです。

FEATURE02

ー細菌防御の「目印」がLPS、それを食品として取りいれることで、免疫の活性化につながるということですね。LPS以外にも、免疫に良い成分はあるのでしょうか?

あります。大きくわけて「間接的に免疫細胞に働きかけるタイプ」「直接的に免疫細胞に働きかけるタイプ」の2種が挙げられます。まず、「間接的に働きかけるタイプ」には、抗酸化物質・ビタミン・ミネラルなどがあります。これらは、身体の栄養状態を良くしつつ、体内酵素をサポートし、酸化ダメージを緩和するなどの働きを有する成分です。つまり、免疫が働きやすいよう、「周囲の環境を整えてくれる」といった役割を果たします。もう一つの「直接的に免疫細胞に働きかけるタイプ」には、LPSの他、キノコ・カビ・酵母の「βグルカン」、乳酸菌の「ペプチドグリカン」などがあります。これらは、LPSと同様、消化器管などでセンサーに感知され、免疫細胞を活性化する成分です。

ーそれら、免疫に良い成分の中でも「LPS」は特に優れているのでしょうか?

「マクロファージを活性化する」という点で、LPSは、キノコなどの「βグルカン」・乳酸菌の「ペプチドグリカン」の1/1000で同等のパワーを発揮します。免疫システムにおいて、「マクロファージの活性化」は第一ステップであり、ここから様々な免疫スイッチが入っていくことになります。ただ、免疫系はとても複雑であり、「マクロファージの活性化」能力だけが全てではありません。LPS・βグルカン・ペプチドグリカン、それぞれに違った特徴があり、一概にどの成分が優れているという比較は難しいです。また、ビタミンなどの「間接的に免疫細胞に働きかけるタイプ」も、必要な栄養素です。それでも、LPSは「マクロファージ活性化」においてダントツのパワーがあり、免疫系の重要因子であることに違いはありません。また、私たちの研究においても、「LPS」とキノコ由来の「βグルカン」には相乗効果がある、という結果が得られています。このあたりも、更に研究を進めていきたいポイントです。

ーLPSのマクロファージ活性化パワー、凄いですね。私たち人間が、日常生活でLPSを取り入れるコツはあるのでしょうか?

LPSは、野菜や穀物など「食用植物」についています。それら食用植物には、LPSを有する菌がくっついているからです。一方で、化学肥料や過剰な衛生管理により、野菜などについている「LPS含有菌」の量が減っています。そのため、「自然の中での生活」「無農薬の野菜・玄米」「安全な野菜を皮ごと食べる」といった食生活が、LPSを豊富に取り入れることにつながります。でも、現代社会において、こういった食生活を続けることは容易ではありません。そのため、「LPSのサプリメント」や「LPSを意図的に含めた食品」をとることが必要と捉えています。

ーLPSは、ワンちゃん達にも人と同様のパワーを発揮するのでしょうか?

犬をはじめとする哺乳動物全てにおいて、遺伝子レベルで「LPS」がマクロファージを活性化することがわかっています。だから、ワンちゃん達の免疫系にプラスとなることは間違いありません。個人的な見解になりますが、「現代のワンちゃんの生活環境」と「病気が増えていること」には免疫の問題が関係していると思っています。部屋飼いにより、以前より衛生的に管理されているため、ワンちゃん達は「菌(＝LPS)」に出会う機会が減っています。さらに、保存を重視したドッグフードは、自然原料ではなく合成されたものが多いため、食するLPS量も少なくなっています。実際に、例えば犬でも「アトピー性皮膚炎」が増えていますが、LPSが不足していることも無関係ではないと考えています。

ー既に病気になっているワンちゃん達にも、LPSは有用でしょうか?

有用です。「免疫力」は、身体の不調に対応する力、とも言えます。これは、薬のように対処療法的に症状を治すわけではなく、どのような病状にもプラスとなりうる力です。例えば、ワンちゃんの病気において、LPSは次のような貢献を果たすことが期待できます。

- 糖尿病→活性化されたマクロファージが血液中の糖化物(HbAlcなど)を食べる(血糖値コントロール)
- 高脂血症→活性化されたマクロファージが血液中の酸化したLDL・コレステロールを食べる
- 認知症→アルツハイマー病の原因となるアミロイドβを脳内マクロファージが食べる
- 尿路結石→結石をマクロファージが食べ、排除する
- 免疫力を高い状態にキープし、免疫バランスを保つ(各病気へのプラス&アレルギー緩和)

ーLPSが病気のワンちゃんにも素晴らしい素材であることがよくわかりました。最後に、今後、LPSを通じてどのような研究活動・社会貢献を行っていきたいとお考えですか?

研究活動では、LPSによる免疫活性化のメカニズムをより詳しく調べていきたいです。LPSが良いことは明らかにわかっていますが、なぜ良いのか?の部分はまだまだ研究の余地があります。そして、まだまだLPSを知らない人にも知ってもらい、健康への貢献を果たしたいと考えています。

ー私たちも、このような素晴らしい素材をできるだけ広く知ってもらいたいと思っています。本日は、貴重なお話をいただき、ありがとうございました。

(株)マッシュルーム・
デザイン・スタジオ代表取締役
藤本　大道

犬心 ご愛用者様インタビュー

兵庫県神戸市在住
斉藤徳子様・喜彦様
ゆう太くん（トイプードル・3歳）

今回、初めてのお客様インタビューにご協力頂いたのは、2018年1月より「犬心 消化器ケア」をご愛用頂いている斉藤さんご夫婦です。

一犬心との出会い

斎藤家にトイプードルのゆう太くんがやってきたのは、約３年前。食事にムラがあり、どのフードも食べてくれなかったため、食べさせることに大変苦労をしていたそうです。「食いつきが良い、と言われるフードをとにかく色々と試しました。でも、食べ始めてもすぐに飽きてしまったり、トッピングなどの工夫をしないと食べてくれなかったりで…。トッピングの量が多くなりすぎるとお腹がゆるくなり、度々病院へ駆け込む日々でした。」

病院で受けた診断は、「大腸炎」。インターネットで「犬」「大腸炎」というキーワードで検索をしたところ、「犬心」のサイトが斉藤さんの目に留まりました。ゆう太くんの場合には、お試し頂いて始めから食いつきも悪くなく、何よりトッピングをしなくても食べてくれたのがそれまでとの違いだったそうです。

一与え方（ゆう太くんの場合）

「動物病院からは、指定の消化器サポートのフードを薦められましたが、慣れてくると食べなくなってしまいました。今は、犬心と混ぜて与えていますが、飽きずに食べてくれています。病院のフード1/3に犬心2/3を混ぜ、一部をふやかして与えています。」

「ゆう太がなかなか食べてくれなかった時のドッグフードを友人に見せた時、『このフードは何だか匂いが臭いね…』と言われたんです。そう言われて改めて犬心の匂いを嗅いでみると、原料そのものの匂いがするなぁと感じています。」

一般的な市販のフードの製造方法は、肉などの原料を一度粉にして脂で固めた後、熱でポン菓子のように膨れさせ、添加物で犬の好む匂いを加えるなどの処理をしています。一方で、犬心は、生の肉などをミンチ状にして形を作り、低温でゆっくり乾燥しています。余計な添加物などを加えていないため、そうした原料そのものの匂いがする、というお声をよく頂きます。

一与えてからの変化

「昔のようなひどい腸炎になることはほとんどなくなりました。今でも、りんごやいちごなどの果物をあげすぎた時に緩くなったりすることはあります。本当に食べない子だったので、食事を変えてから、3.4kg→3.8kgに体重が増えました。以前は、ご飯の支度をして何度呼んでもなかなか来てくれませんでしたが、犬心を与え始めてからは、支度を始めると自然に来てくれるようになりました。」

お二人で出かける旅行が趣味という斉藤さんご夫婦。「ゆう太と一緒に出かけられる場所を見つけて、色々な場所に出かけたいと思っています。」病院のお世話になることがほとんど無くなり、斉藤さんの不安が減ったこと、その ことが何よりの変化かもしれません。

お客様の声を募集しています。

犬心の商品を継続的ご利用いただいている飼い主様から、「お声」と「お写真」を募集しております。ご購入に至った経緯や、愛犬の変化などについてお聞かせください。皆様からのお声を共有することで、同じ悩みを持つ飼い主様の疑問やご不安を取り除ければと考えております。毎月抽選で３名様に、愛犬のお名前入り特製ビブ（よだれかけ）をプレゼントいたします。ワンちゃんの肌に優しい国産の生地を使用して、一つ一つハンドメイドで製作しています。ご応募は以下のリンクから。皆様の「お声」を、お待ちしております！

ご応募はこちらから

犬心 お客様の声応募フォーム
https://questant.jp/q/EXP0DB5V

免疫スイッチを入れる「きのこ」のヒミツ

もう一つの免疫素材「きのこ」

LPS と共に、ワンちゃんの免疫力をサポートするもう一つの素材が「きのこ」です。きのこは、お酒などの発酵で知られる酵母やカビの仲間であり、「真菌」に属しています。真菌の 1 種であるきのこと細菌由来の LPS とは、少し異なる免疫機能を果たすことが知られています。

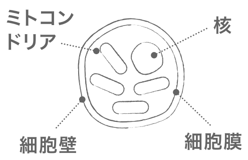
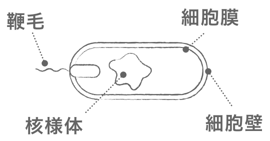
真菌	細菌
	
遺伝子が核で包まれている	核がないために細胞の中に遺伝子がそのまま入れられている
きのこ、酵母、カビ	【LPSを有する細菌】酢酸菌、キサントモナス菌、パントエア菌

図 1

きのこ免疫成分「βグルカン」とは？

きのこに含まれる免疫成分として、「βグルカン」が知られています。βグルカンは、どのきのこにも含まれており、世界中で研究が進められてきました。

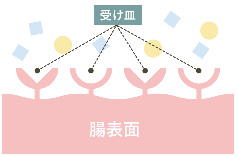
LPS と同じく、犬や人は「βグルカンの受け皿」となる物質を体内にもっています。βグルカンとその受け皿が触することで、免疫キープのスイッチが入ることが研究報告されています (図2)。

さらに、きのこには、βグルカン以外にも新たな免疫成分が続々と発見されており、今後の研究成果が待たれるところです。

図 2

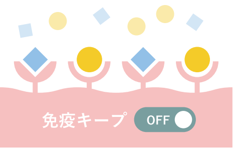
01

腸の表面には、「βグルカン」「LPS」それぞれの"受け皿"が無数に存在しています。



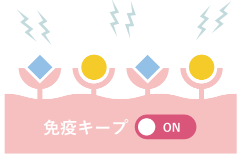
02

カギとカギ穴のように、「βグルカン」「LPS」は、それぞれの"受け皿"にぴったりはまり込みます。



03

「βグルカン」と「LPS」が"受け皿"にはまると、「免疫キープ」のスイッチが入ります。

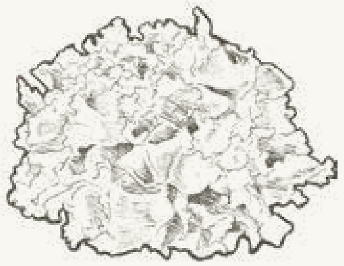


04

「免疫キープ」のスイッチが入ったことにより、身体中に「免疫キープ」の力が行き渡ります。

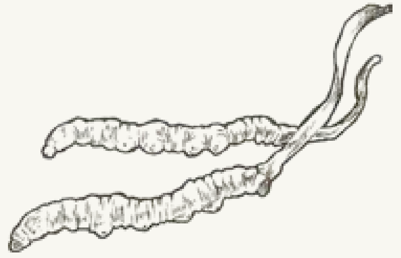
犬の免疫にお勧めのきのこは？

「どのきのこが、犬に最も良いですか？」と質問いただくことがあります。
あらゆる種類のきのこ研究に携わってきた経験から、ほぼ全てのきのこに免疫キープ力が備わっていると考えています。
その中で、特にワンちゃんにお勧めできるきのこが、「はなびらたけ」と「冬虫夏草」です。



はなびらたけ

フランス料理の高級食材として珍重されるとともに、日本国内でも「幻のきのこ」と呼ばれてきた。最近の研究により、あらゆるきのこの中で免疫成分「βグルカン」が最も多いこと等がわかり、健康面でも大きな注目を集めている。



冬虫夏草

古代より、和漢植物の最高級素材として重宝されてきたきのこ。「冬は虫の体内に寄生し、夏になると草 (＝きのこ) となって土から出てくる」というユニークな生態が名前の由来。現代科学においても、その健康維持力が明らかにされつつある。

私たちは、昭和 21 年創業の菌＆きのこ研究工房「大和菌学研究所」を母体としています。「愛犬を病気で亡くした私たち自身の経験」、そして、「愛犬家の方々の切実な想い」がドッグフード作りにチャレンジする動機となりました。そして、自分たちのバックボーンである「菌＆きのこ研究」「栄養の知識」「食品開発技術」「専門家ネットワーク」等を活かし、研究開発を進めてきた次第です。

LPS と合わせて、これら 2 種のきのこを取りいれることは、病気の子はもちろん、健康なワンちゃんにもお勧めです。

New Arrival

新商品のご紹介

犬心 低たんぱくバランス

腎臓食・尿路ケア食・肝臓食の問題とは？

腎臓病・尿路結石・肝臓病、これらはいずれも「低タンパク質」の食事が求められる疾患です。しかし、低タンパク食は総合栄養バランスが偏ってしまう問題を抱えており、長く続けるには不安が残る一面があります。

今まで無かった、低タンパク質かつ総合栄養バランスのとれた療法食

「犬心 低たんぱくバランス」は、低タンパク質ながらも総合栄養食の基準を満たし、かつ、腎臓病・尿路結石・肝臓病に対応した療法食です。栄養調整とともに、「五穀八菜育ちの冬虫夏草」「ブルーベリーの茎&葉エキス」という腎・尿・肝ケア素材をブレンドし、”安心して長く続けられる低タンパク食”に仕上げています。

- ☑ 低タンパク質かつ総合栄養食グレード
- ☑ 腎臓病・尿路結石・肝臓病に対応
- ☑ その他疾患との併発症状もケア

その他疾患との併発にも対応

さらに、「犬心 低たんぱくバランス」もう一つの特徴として、腎・尿・肝とその他疾患の併発にも対応していることが挙げられます。「腎不全＋膵炎」など、併発症状を抱えるワンちゃん達も、しっかりケアすることができるフードです。

五穀八菜育ちの 冬虫夏草

最高級・和漢きのこ「冬虫夏草」とは？

冬虫夏草は、「冬の間は虫の中で暮らし（虫に寄生し）、夏になると草（きのこ）として出てくる」というユニークな生活スタイルをもったきのこです。最高級の和漢植物として知られ、古代より中国皇帝たちがその健康パワーに魅了されたという伝承が残されています。

自社製オリジナル、「五穀八菜」で育てた冬虫夏草

現代科学においても、冬虫夏草の健康パワーが明らかにされつつあります。私たちは、ヘルシーな食材の中から「五穀八菜」を厳選、冬虫夏草の力を最大限引き出すことに成功しました。

- ☑ 最高級・和漢きのこ「冬虫夏草」パワーを引き出した一品
- ☑ 自社製オリジナル、「五穀八菜」で育てた冬虫夏草
- ☑ 免疫キープ＆不足栄養補給をサポート

免疫力キープ＆不足栄養の補給をサポート

「五穀八菜育ちの冬虫夏草」は、免疫力を高い状態にキープするとともに、ワンちゃんが不足しがちな栄養をバランスよく補える内容でもあります。ワンちゃんの様々な健康サポート・シーンにお勧めのサプリです。

犬心 商品選択GUIDE

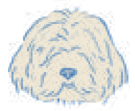
対応疾患・トラブル別に商品を選ぶ

対応疾患・トラブル	商品
膵炎 / 糖尿病 / クッシング症候群 / 甲状腺機能低下症 / 高脂血症 / 胆嚢疾患	糖&脂コントロール
がん / 腫瘍性疾患	元気キープ
消化器疾患（主に胃・十二指腸・小腸の疾患）	消化器ケア
皮膚疾患	皮膚サポート+
脳神経の病気 / 関節骨格トラブル	シニアサポート+
腎臓病 / 尿路結石 / 肝臓病 / 腎臓病/結石/肝臓病とその他疾患の併発	低たんぱくバランス

対応疾患に当てはまらないケース

ケース	商品
重度な心臓病	低たんぱくバランス ＋ 亜麻仁オイル
「がん腫瘍」と「膵炎/高脂血症/胆嚢疾患/高ALP/クッシング/甲状腺低下」などの併発 / 大腸炎/タンパク漏出性腸症/腸リンパ拡張症などで『消化器ケア』が合わないケース	糖&脂コントロール or シニアサポート+
重度な胃/十二指腸トラブル（嘔吐や消化不良など）を伴う「膵炎/高脂血症/胆嚢疾患/高ALP/クッシング/甲状腺低下」	シニアサポート+

健康なワンちゃんの場合

ワンちゃん	商品
1歳以下	消化器ケア
1～7歳で 標準体型or痩せ気味	消化器ケア
1～7歳で ポッチャリ気味	糖&脂コントロール
 8歳以上	シニアサポート+

Inukokoro Seriese Lineup

犬心商品ラインナップ

FOOD

犬心「糖&脂コントロール」

「高血糖&高脂血が関わる7つの病気(トラブル)」に対応したナチュラル療法食。健康だけど太り気味な子にもお勧めの低糖&低脂肪フード。

犬心「元気キープ」

「がん・腫瘍性疾患」に対応した5つの臨床栄養を満たすとともに、「人も食べられる」安全安心な品質のナチュラル療法食。

犬心「消化器ケア」

高栄養・高消化性により「消化器トラブル」に対応したナチュラル療法食。腸内善玉菌がアップし、健康なワンちゃんにもお勧めのフード。

犬心「皮膚サポート+」

犬の皮膚トラブルの4大原因に配慮したナチュラル療法食。健やかな皮膚・被毛をサポートする栄養成分とともに、安全安心で「人も食べられる」品質にこだわっています。

犬心「シニアサポート+」

シニア犬にとって「理想的な栄養バランス」を自然原料で実現。「認知機能の低下(脳神経トラブル)」「関節炎」「活力・免疫力の低下」という3大トラブルに対応しました。

犬心「低たんぱくバランス」

腎臓病・尿路結石・肝臓病の犬に配慮した栄養調整。「低タンパク質」「ミネラル(リン・ナトリウムなど)調整」を総合栄養バランスが取れた内容で実現しました。安心して長く続けられる、今までに無いタイプの「腎・尿・肝」ケア用ナチュラル療法食です。

SUPPLEMENT / OYATSU

N3+

「犬由来の3種・善玉菌」が生きたまま腸に届くサプリメント。ワンちゃんの小腸&大腸に定着し、相乗作用を発揮する「乳酸菌」「ビフィズス菌」「酪酸菌」を高濃度に配合しています。

はなびらたけパウダー

犬の「免疫力」を維持するキノコ「はなびらたけ」。昭和21年創業の老舗キノコ工房より、どこよりもお安く、製造直販でお届けします。

MANU-KAMU(マヌカム)

歯周ケア2成分「マヌカハニー」と「シクロデキストリン」を配合した世界初の犬用歯磨きガム。おいしく「噛む」ことで、簡単&根本からの「オーラルケア」が期待できます。

五穀八菜育ちの冬虫夏草

最高級の和漢キノコ「冬虫夏草」を自社製造。厳選した健康食材「五穀八菜」で冬虫夏草を育てる(冬虫夏草菌で五穀八菜を発酵させる)新技術により、伝承の有用性を引きだすと共にワンちゃんが不足しがちな栄養を補えるサプリ。

How to Order

注文の流れ

1 ご注文 ＊下記3つの方法からお選びいただけます。

インターネット・スマートフォン [24時間受付]

https://inukokoro.com

犬心専用フリーダイヤル

0800-123-1556

[平日9:00~17:00/年末年始・お盆休みを除く]

FAX

0745-44-2282

[24時間受付]

2 お届け ＊佐川急便、日本郵便、ヤマト運輸のいずれか

通常、ご注文いただいた3営業日以内に発送致します。交通状況等により、お届けまでに時間がかかる場合がございますが、7日以上経過しても届かない場合はご連絡ください。

まとめ買い・定期コースご注文の場合の送料について

関東・信越・中部・北陸・関西・中国・四国・九州への送料は、200円、東北地方への送料は、400円、北海道・沖縄への送料は、800円です。

単品購入ご注文の場合の送料について

関東・信越・中部・北陸・関西・中国・四国・九州への送料は、520円、東北地方への送料は、820円、北海道・沖縄への送料は、1220円です。

返品・交換について

＊商品発送後のお客様都合による返品・交換は、一切お受け致しかねます。何卒、ご了承ください。

＊商品の不備による場合は、開封・未開封に関わらず、原則として良品と交換または返品をお受けいたします。商品到着後、14日以内に下記メールまでお問い合わせください。14日を過ぎますと受付できませんのでご注意ください。

マッシュルーム・デザイン・スタジオ info@kinoko-design.com

3 お支払い ＊下記2つの方法からお選びいただけます。

クレジットカード決済

手数料無料

＊お取り扱いクレジットカード

VISA / MasterCard / JCB / AMERICAN EXPRESS / Diners Club INTERNATIONAL

代金引換

商品をお届けの際に、商品と引換に配達員に代金をお支払いください。手数料:330円

＊まとめ買い・定期コースの場合、手数料無料